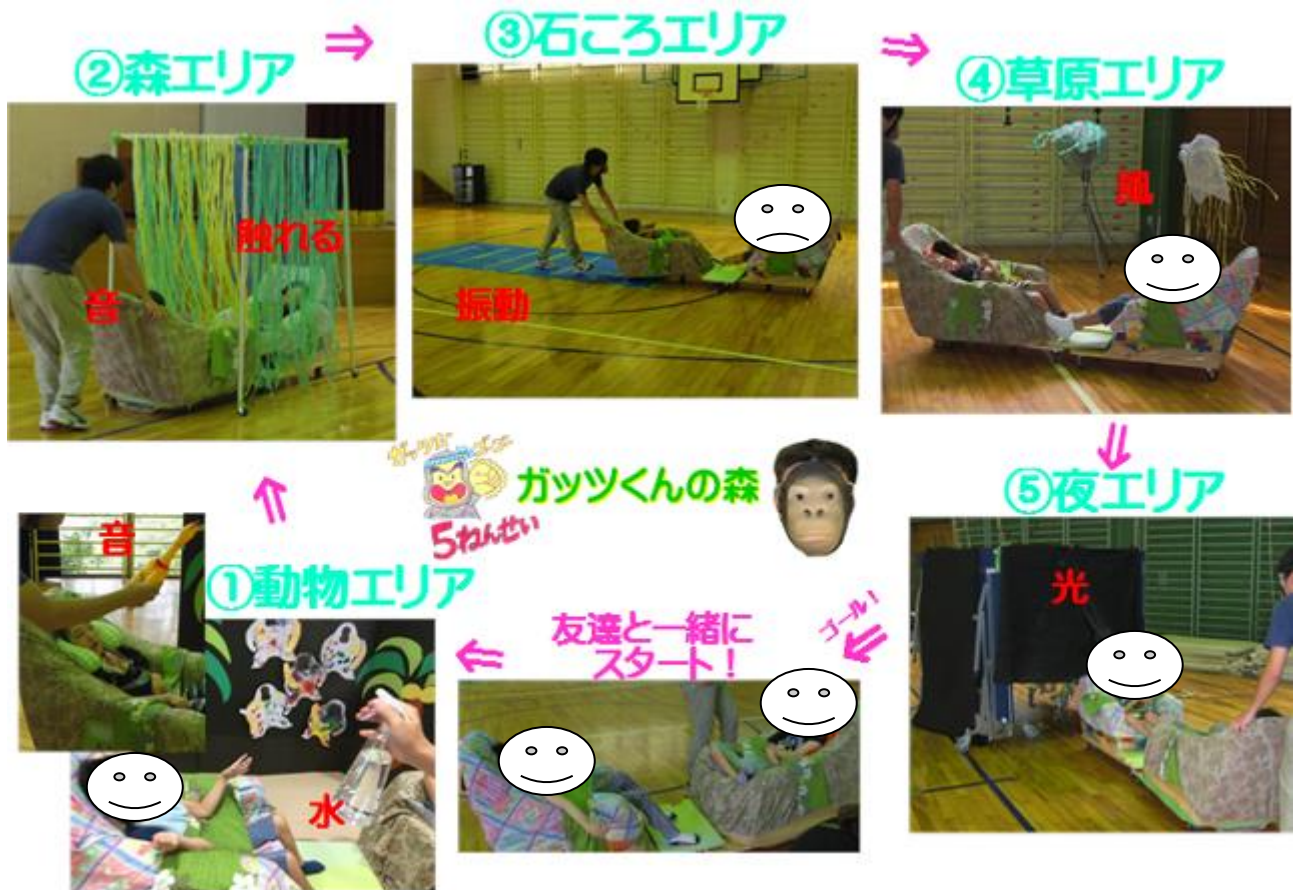


教材・教具名	ガッツくんの森	教科・領域等	遊びの指導
情報提供者	小学部 5年 3組 氏名 阿津地 一瑛, 大倉 隆弘		

教材・教具写真



1 教材・教具の説明

- 対象児童について：小学部5年3・4・5組（重複障害学級）。その中でも、3組の児童は全介助が必要な児童であり、遊びの指導においても、教師の動きが主体となってしまうがちである。また、友達を意識して関わりにくいため、遊びの指導では、これらの点を考慮した教材・教具の工夫が必要である。
- 教材について：友達と一緒に乗り物に乗って、「ガッツくんの森を探検しよう！」。
- (1) 乗り物：友達を意識できるよう、2人が対面して座れる乗り物を作成した。
- (2) 写真にあるエリアについて：様々な感覚を使い、児童が周囲の変化に気付き、自分で体を動かして「見たり」「聞いたり」「感じたり」して楽しむことができるように工夫した。
- ① 動物エリア：ビックマックに鳥の鳴き声を入れておく。鳴く鳥のおもちゃを教師が動かしながら提示する。雨が降ってきたという設定で、霧吹きで水を感じられるようにする。
- ② 森エリア：体にテープが当たるようなトンネルを作成した。テープは当たると音がするスズランテープを用いた。
- ③ 石ころエリア：全身で振動を感じられるよう、がたがた道を作成した。ブルーシートに割り箸を貼って作成した。
- ④ 草原エリア：扇風機にスズランテープを付け、風や音を感じられるようにした。
- ⑤ 光エリア：活動の最後は、どの児童も好きな光トンネルを設定し、満足して活動を終わられるようにした。カラフルな光が出るミラーボールを用いた。

2 その他

- 動物エリアで用いたゴリラの飾りは、児童の図画工作科での作品である。
- 乗り物は、廃棄となっていたリラックスチェアをリメイクし、ホームセンターで購入したキャスターと組み合わせて作成した。

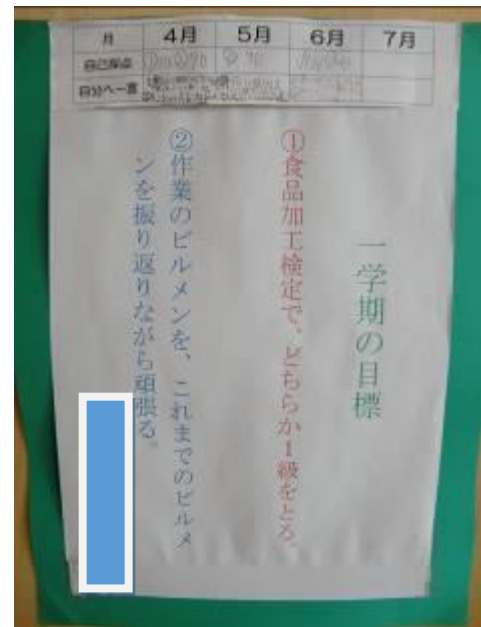
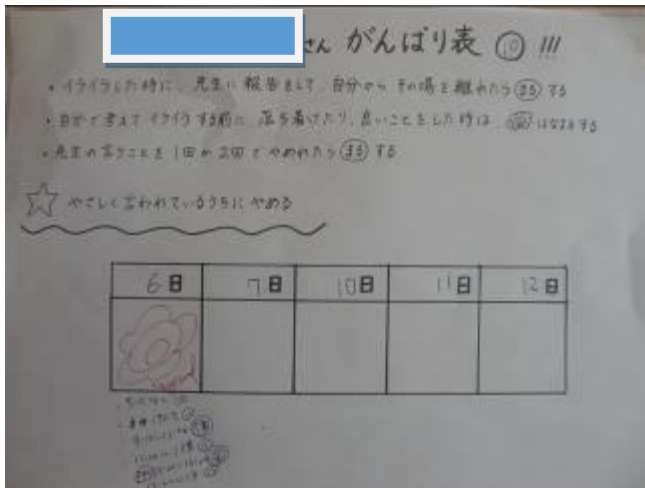
参考文献・Web

なし。

教材・教具名	Excel でバーコード & バーコードリーダーを利用した買物学習	教科・領域等	数学科・生活単元学習
情報提供者	高等部 1年 6組 氏名 松本 政則		
<p>教材・教具写真</p> <p>○A4プリント2枚 (「Excel でバーコード」を利用して印刷したバーコード)</p> <p>○A4サイズのケース1つ (バーコードの着いた商品写真カード)</p> <p>○PC・TV・(バーコードリーダー)</p>			
<p>1 教材・教具の説明</p> <p>「Excel でバーコード」を利用して、商品名・金額等の情報の入ったバーコードを印刷し、写真を印刷した商品カードに貼る。</p> <p>Excel で作成したレジ用ソフトを利用してバーコードリーダーで商品カードのバーコードを読み取り、レジの仕事をする。</p> <p>バーコードリーダーで商品のバーコードを読み取ると、商品名と金額がPCのモニターに表示される。</p> <p>会計のバーコードを読み取ると、合計の金額がPCのモニターに表示される。</p> <p>支払われたお金の金額をPCに入力すると、おつりや不足の金額等が表示される。</p> <p>一人でバーコードリーダーとPCを操作してレジの仕事をすることもできるが、</p> <p>① バーコードリーダーでバーコードを読み取る係。</p> <p>② モニターに表示された商品名や金額を読む係。</p> <p>③ 支払われたお金の金額をPCに入力する係。</p> <p>④ おつりを準備して渡す係。</p> <p>のように、生徒の実態に合わせてレジ係の仕事を分担するために作成した。</p> <p>2 その他</p>			
参考文献・Web			

教材・教具名	振り返りシート	教科・領域等	特別活動
情報提供者	高等部 3年 A組 氏名 酒井 敏郎		

教材・教具写真 (規格:A4用紙)



1 教材・教具の説明

左の写真・・・生徒の生活面で頑張りたいことを表にして、毎日帰りに振り返るシート。

右の写真・・・1学期の個人目標を振り返る帯状のシート。月末ごとに達成度を記入する。

2 その他

生徒の反応・・・目標を定期的に振り返ることを事前に伝えておくことで、目標を立てる学習が形式的にならない。(生徒が具体的に考えるようになる。)

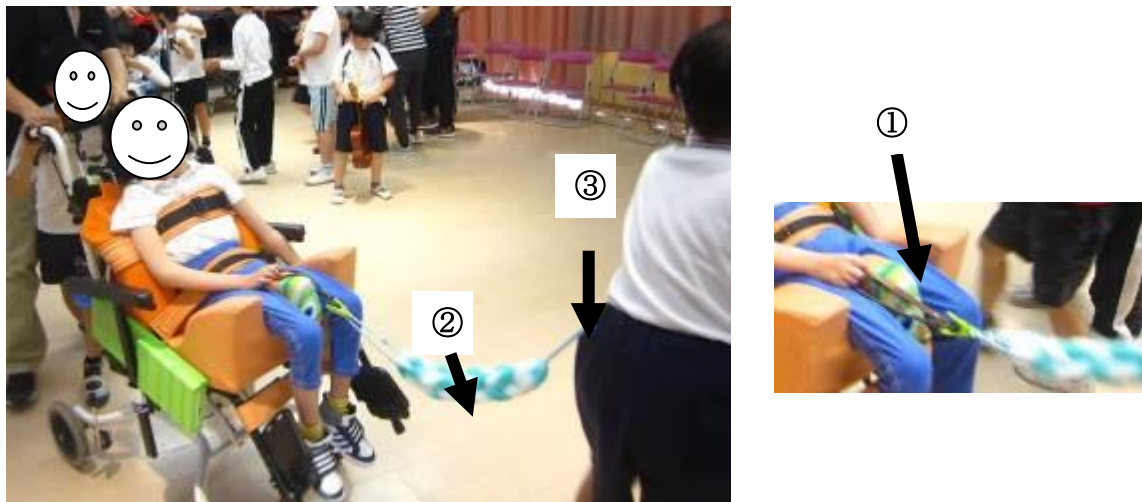
また、生徒たちも立てた目標を忘れず(あれ?何だったっけ?となることなく。)学校生活を送ることができるようになった。

参考文献・Web

教材・教具名	食事と健康 (パワーポイント)	教科・領域等	理科
情報提供者	高等部 3年 B組 氏名 石田 誠二		
教材・教具写真			
<p>今日のテーマ</p> <p>「しょくじとけんこう」</p> <p>では、私たちが一日に必要な カロリーは何kcalくらいでしょう？ (正解は…)</p> <p>1800kcal~2200kcal</p>			
<p>きゅうり1本</p>  <p>14 kcal</p>		<p>オムライス</p>  <p>700~800 kcal</p>	
などなどなど			
<p>1 教材・教具の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事に含まれるカロリーや栄養素を生徒に分かりやすく伝えるために、写真等を用いたりクイズ形式にしてパワーポイントでスライド画像を製作した。 <p>2 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生徒は割と興味をもって見ていた。 			
参考文献・Web			

教材・教具名	つながり遊び用補助具	教科・領域等	遊びの指導
情報提供者	小学部 4年 6組 氏名 中岡 美穂		

教材・教具写真 (規格:長さ 60cm程度)



1 教材・教具の説明

つながり遊びの定番である「かもつ列車」の際、車椅子の児童だと、後ろから他の児童に車椅子を押してもらうことがよくあるが、そうすると一番前になるばかりである。前を歩く児童の後ろにつながれる方法は何かないかと考え、この補助具を制作した。

① 持ち手の部分は、普段からいつも使っているパーツ

- ・ 合皮のベルトのような持ち手は、100円ショップで売られているかばんの持ち手である。(手芸コーナーで販売している。) 太くなく、細すぎず、滑りにくく、ちょうどよい感じである。
- ・ 薄い紙を握ったり、何かを引っ張ったりするときに、いつもこの持ち手を使っているので、今回も、持ち手の部分は同じものを使っている

② 微妙に伸び縮みする「しっぽ」部分

- ・ 「しっぽ」の部分は、100円ショップにあった身体を洗うタオル(編みであるタオル)を使用した。
- ・ 歩くペースがそろわず、曲の間、どうしても前の児童との距離が近くなったり、離れたりしがちで、ひもを使うと、距離が縮まったときに足元にひもが垂れ下がって絡まったり、踏んで滑ったりして危険なこともあると思い、転倒予防のために、伸び縮みする素材を採用した。

③ 引っ掛けるだけのS字フック

- ・ 前の児童とつながる部分は、S字フックを使っているので、ズボンの後ろポケットに引っ掛けるだけで使用することができる。

2 その他

車椅子の児童も、前を歩く児童も、補助具を使ったことが面白かったようで、距離が離れてフックが取れると、それに気付いて直そうとしたり、フックが取れないように歩く速さを気にしてみたりする姿が見られた。